

令和7年度 第2回 酒田市公民館運営審議会 議事録要旨

日 時：令和8年3月2日（月）

午後1時30分～2時40分

場 所：酒田市総合文化センター 412号室

出席者：委員9名（出席8名・欠席1名）

事務局 社会教育課長ほか9名

4 協議（1）令和7年度 主要事業実績について . . . . . 資料1

委 員 最近の新聞記事でショックだったのが、里仁館が来年度で閉館というもの。  
「酒田っ子根の力育成プロジェクト事業」について、学校教育課では、根の力だけでなくまなびの樹をさらに大きくするため、基礎基本の部分も力を入れていくという取り組みになってきている。社会教育課としては根の力を継続していくのか、学校教育課と合わせていくのか、教えてほしい。

事 務 局 酒田市の子どもたちにつけたい力をまなびの樹に例え、その中の根の力は学校教育だけでなく、社会教育としても取り組んでいくということでこの事業を立ち上げた。今年度、高校生を対象に朗読会を開催し、自信を持った、達成感があった等、すごく肯定的な感想があった。教育委員会としてまなびの樹全体を大きくしていくことに寄り添う考え方はあるが、今年度の事業成果からもう1年来年度は継続してやっていきたいというのが社会教育課としての考え方である。

委 員 たくさんの事業が行われていて素晴らしいと思った。  
10月の川西町の県社会教育研究大会に参加させていただいたが、とても良い研究大会で参加させていただいて良かった。

委 員 松陵コミ振でも松陵まつりをしており、松陵コミセンの会場を使っている方に発表をお願いしているが、年々参加する団体が少なくなったと感じている。

委 員 すごくいろんなイベントや企画をしていて、酒田市はしっかりしているなと思った。私も子育て世代であり、子どものイベントで子どもが楽しんでくれたら、イコール親も楽しく充実感があると思うので、子と親を巻き込んだものがこれからもあると良いと思う。事業対象で例えば大学生向け、若者向け、青年向けのものがあると、もっと幅広い活動になっていると言

えると思った。最後に成果と課題の部分で、我々青年会議所もいろいろ企画をして、その定性的、定量的な分析をしているが、アンケートを取っている事業もあるようなので、分析をして1年後に向けた活動につなげるとより良いと思った。

委員 幼児すてっぷ出前講座の集団積木遊び、講師から退任の申し出があったということだったが、それはなぜか。出前講座を受ける側でも何かできることはなかったか。せっかくの機会なので、活発にいろんな活動ができると良いと思った。

それから、酒田っ子はぐくみ事業の中でキャリア教育コースの見直しを行うとあるが、キャリア教育コースというのは、どういうものがあるかという点を見直しするのか。

事務局 幼児すてっぷ出前講座の講師から、体調面で遠慮したいとお話があった。キャリア教育コースは東北公益文科大学の先生にお願いしているもので、職業観というよりは自分の価値観をちゃんと認識して育てていくという内容だったが、学校ではもう少し実践的なものを求めているという話もあり見直しを考えている。

委員 生涯学習施設の里仁館で研修部長を務めている。幼児から高齢者までを対象に、地域の自然や歴史文化に関する講座を提供してきた。人気の講座は抽選により受講生を選ぶという時代もあり、県や市から応援いただいたが、コロナもあり社会の変化、建物の老朽化、市補助金の減額により、これ以上続けるのは困難という結論を里仁館の運営委員会、理事会で出し、市や県にも報告して令和8年度で閉館ということに至った。

今まで講座の企画、講師の選出等で培ってきたノウハウで、社会教育のために役立てるものがあれば、喜んで協力したい。

委員 社会教育スキルアップ講座に参加させていただいた。いろんな方がいて、そういう活動をしているということは全く知らなかったので参加させていただいて良かった。今年は酒田が会場ということで、とても興味があり微力ながらお手伝いできればと思っている。資料もいただいたが、幅広い活動で驚いた。私は内陸出身の転勤族でいろんなところで生活していたが、酒田市のこの活動は、新しいものも取り入れていて参考になることばかりである。私は生涯学習まつりに参加していて、講座というか講師をしているが、いろんなお客さんが見に来てくださり、年々人数も増えていて素晴

らしいと思う。昔、ホールの発表は土日だったが、現在は土曜日だけの催しになっているので、できれば日曜日にも盛り上げるものがあれば、もっと良くできたらと考えている。

委員 私はユネスコ協会にも所属しており、童謡を歌う会でマリーンジュニア合唱団の子どもたちがもうちょっと多ければ良いなと感じた。出演している子どもに、どうやってマリーンジュニア合唱団に入ったのか聞いたら、学校で先生から声かけがあったと言っていたが、今はどんな形で募集しているのか。海洋少年団も、どんな形で募集しているのか伺いたい。

それから、吉野弘の朗読会での高校生は本当に立派だったが、会場を見渡すと私と同年代の方ばかりで若い高校生世代がいなくて、なかなか難しいなと感じた。子どもたちの習字を飾って、友達を誘って見てもらうように言っても、本人が来るのがやっとのようだ。そういうところが全体的な課題だと思う。募集方法がどのようになっているか回答いただきたい。

事務局 どちらもカモンくんこどもニュース等で募集しているほか、それぞれの団体に募集チラシも作成して、学校等に配布をお願いしている。

海洋少年団は、カモンくんこどもニュースやホームページ、市広報などでの団員募集は例年行っている。また、毎年体験入団をしており、そちらもホームページや市広報で参加希望者を募って、募集活動に努めている。今後は海洋少年団の募集のチラシとポスターを作成して学校に掲示や配布をしてもらう予定。

#### 4 協議（2）令和8年度 主要事業計画（案）について . . . . . 資料2

委員 今年クルーズ船が20回くらい来るとのこと。去年も高校生や小学生がボランティアでいろんなことをしていたが、そういう事業で何かドッキングできるものがあるか。多岐にわたる活動内容をやっていてありがたいと思う一方、何かドッキングできたり、統合できたりするようなものがあれば良いと思った。

ミライニ管理運営事業で子どもの読書活動の推進とある。酒田市で制定している毎月19日が家読、食育の日に倣って、園では19日を毎月郷土食メニュー、それから家読の日として家庭へアピールをしているが、19日ということをもうちょっとアピールすると、ここと繋がるのかと思った。

事務局 市でやっている事業にドッキングしてというのは大変良い案だと思うが、いろんなところに関わっていくのが難しい。自分たちが実働部隊で何かす

るというよりも、それぞれ関係するところをうまくつなげていくような役割なのかと感じている。

委員 クルーズ船は、市では観光課で担当しているのか。  
事務局 市としては観光、商工だが、そもそも県の事業であり寄港地である酒田市が中心になってお手伝いしているもの。

委員 実際に企画等に関して社会教育課で関わった事例はあるのか。  
事務局 ミライニに観光案内所があり、ここ数年何回かクルーズ船が寄港するたびに観光案内所の方にはかなりの外国のお客様がいらしている。観光案内所としても外国人対応に力を入れていこうというところ。また、観光案内所には、酒田南高校の観光専攻の生徒が、ボランティアとして週何回か当番で来ており、観光案内の実践の場として学びをしていただいている。  
また、保育園で家読の日に力を入れていただいていることは、とてもありがたい。ミライニ運営評価審議会の委員にも保育園の園長さんがいて、ミライニ発行の絵本だよりは好評いただいている。今回、子ども読書活動推進計画が令和8年度から新しくなるので、ぜひ力を入れて小さい子から本を読んでもらう環境づくりに努めていきたい。

委員 いろいろ企画があるが、一番注力する企画やイベントはあるか。  
事務局 後ほど生涯学習推進計画の後期計画を説明するが、重点施策を挙げており、計画に紐づいているところを重点的に実施していく考え方になっている。

#### 4 協議（3）その他

事務局 海洋少年団やマリーンジュニア合唱団は参加が非常に少ない。学校で効果的なPRをしていただける方法があれば伺いたい。

委員 学校には各方面からチラシが届き、海洋少年団やマリーンジュニアのチラシは確実に配っているが、学校としてはチラシに軽重つけることは難しい。これは配るだけ、これをちゃんと説明してくださいということまでの対応はできていない。

委員 先ほども申し上げたが、マリーンジュニア合唱団にどうやって入ったのかと聞いたら、担任から声掛けがあったとのこと。ただ配るだけではなくて、人からの声掛けで違うと感じた。

#### 5 報告（1）酒田市生涯学習推進計画【後期計画】について . . . . . 資料3

委員 17 ページの社会教育委員名簿の4番。一般社団法人酒田市芸術文化協会と訂正してください。

5 報告(2) 令和7年度社会教育活動等の実施状況について . . . . . 資料4

(3) その他

令和8年度第17回山形県社会教育研究大会について . . . . . 資料5

委員 最初の令和7年度社会教育活動等一覧は、データを整理し大変見やすくまとまっている。お互いに参考になると思う。

委員 この活動の収支には何か補助が入っているのか。

事務局 この事業の財源は、直接社会教育課から出ているものはない。まちづくり推進課のひとづくり、まちづくり総合交付金という交付金の中に、旧公民館地区と、旧3町が対象の地域の教育力向上加算というものがある。具体的な使途は特定していないが、それが財源になっている。来年度は、これから予算が議会の方に諮られるので決定ではないが、市街地も含めた全部のコミュニティ振興会が対象で、こういった社会教育事業をやりますという手挙げ方式で加算になる予定である。

委員 泉コミセンで毎月メンバーの1人として、子どもの事業として年間計画を立ててやっていた。その中にも前は市から手挙げ方式で予算があったが、そのあとは独自でやっていた。子どもたちや地域のためにこういう動きがあるのは、ありがたいと思う。

6 その他

事務局 生涯学習推進計画では、郷土愛に溢れた人材の育成を掲げているが、青年会議所さんでは、酒田祭りに高校生も巻き込むような活動もしていると伺った。改めて地元を知る、将来の定住にも繋がるなど、良い活動だと思うが、活動を通して何か成果などがあれば伺いたい。

委員 2025年は、酒田祭りの宵祭りを高校生と一緒に企画運営した。もちろん郷土愛を育てたいというのはあったが、自分が生まれた町の一番大きいお祭りで、自分たちで運営をするというところで1つ達成するものがあるのは良いことだと思った。学校終わり、部活終わりにやるので大変だが、一番大事なのは準備過程で、仲間と集まって顔を合わせてやることでみんなの仲が深まり、仲が深まることによって、その地域で出会った人たちとの関係性ができ、それが地域肯定感に繋がると我々は思っている。準備段階からいろんな子たちを巻き込んで、コミュニケーションをとってもらう方が良い。そういうふうに、これからもいろんな若者を巻き込む企画をやると思う。成果としては、そのときに関係ができ上がった子とは今

でも連絡を取っており、就職や進学で外に出てもその経験をもとにいずれ戻ってきてくれたら良いと思う。

来年度取り組みの重点施策、ミライニの活用で読書推進があったが、読書推進をさせてそのあとどういう子、どういう人になって欲しいのか。

事務局 子ども読書推進計画の一番大きな目標として、国の計画などにもあるが、想像力を育てて人生をより豊かにする、そういう子どもに育てて欲しいという願いがあり、それに向かって読書してもらおうという取り組みになっている。もちろん、郷土のことも知ってもらい、郷土愛も育みたいと思っている。また、今子どもたちの生の体験が不足していることから、読書を通していろいろな体験をして、豊かな感受性を養って豊かな人生を送ってもらいたいという願いがある。

委員 図書館を充実するのは良いことだと思うが、あとはコミュニティとして、図書館に行ったら人がたくさんいるから、そこで会話が生まれるとか、本を読むことだけでなく、対面でコミュニケーションをとることができる場になって欲しい。例えば、本を読んで感想の話をするとか、そういうコミュニケーションが生まれれば良いと思う。

委員 この公民館運営審議会の委員は2年任期だが、酒田市の市P連、飽海PTA連合会の仕組みで、自分は今年1年間だけの委員である。来年自分は会長で残るが、それ以外の理事は毎年入れ替わるので、残りの1年間は他の小学校の理事が委員になる。その連絡は、市P連から団体に連絡するのか。

事務局 基本的には2年任期なので、任期で代わる時はこちらからどなたか推薦してくださいと連絡する。

市P連で年間20ぐらいの役職があって、毎年、事務局担当の教頭先生が割り当てしていると思う。我々はそこに次の人はどなたかをお聞きする形になる。